

みみタロウ

にほんご ばん 130号 2019年1月
日本語版 ☆ 130号 2019年1月

しがけんこくさいきょうかいぼらんていあぐるーぷ「みみタロウ」
おおつし はま びあざおうみ
大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2F
Tel/Fax : 077-523-5646
E-mail : mimitaro@s-i-a.or.jp
URL : http://www.s-i-a.or.jp
f : https://www.facebook.com/siabiwako



ほくの履歴書

～ 今回みみタロウは、木村ヨシオさん(栗東市在住)にお仕事についてのお話をうかがいました。～



8歳の時、ブラジルから家族と来日して18年になります。その頃は言葉もわからず、いじめにもあってつらい思いもしました。高校には親に説得されて行きましたが、今では行って良かったと思っています。卒業後、溶接の仕事を6年、精密部品等の機械のオペレーターを1年行い、2年ほど前から特定派遣(派遣会社の正社員)としてシートベルトの開発部で働いています。

今の仕事に就くきっかけは、大手の転職サイトに登録したことです。それまでは正社員として働いてきたので、最初は派遣として働くのはためらいがあり、疑心暗鬼だったのですが、思い切って就職すると、きちんとした待遇で就業のサポートをしてくれました。そして一ヶ月間エクセルの研修を受け、さらに一ヶ月間派遣先で必要になるCADの研修を受けて職場に配属されました。派遣先の職場は僕にとって願ってもない環境で、仕事も学ぶことが多く、とても充実しています。そしてこの決断が、自分に とっての大きな転機になりました。

職場では、シートベルトの製品設計や試作品の製作に携わっています。この仕事には、これまで培った技術を活かせる部分もありますが、非常に高度な知識が求められる内容なので、大学に行っていない僕にはとても大きなスキルアップを要するものでした。また、試作品ができあがると、生産化に至るまでの過程についても関連部署等と調整しながら進めるのですが、それもまた、新しい経験でした。僕は人付き合いがあまり得意な方ではなかったのですが、今はそんなことは言っていられず、自分の足りなさを手と足を使って補いながら、そして口もフル回転で仕事をしています。また、自分の仕事以外にも、毎日他の職員さんに仕事をもらうことで多くの経験を積ませてもらっています。すると有り難いことに、いろんな人から声をかけてもらえるようになり、良い関係も沢山できました。そして派遣の僕にも惜しみなく知識を与えてくださる上司にも恵まれ、感謝の日々です。早く職場の期待に応えられるよう、頑張ります。

就職にはその時々タイミングや運などもありますが、もちろん努力しなければ、どこに行ってもうまくいきません。しかし、もしそこで自分なりに精一杯努力してもだめだったら、別の環境に身を置くのもいいのではないのでしょうか。仕事はまず、自分自身の人生や生活のためにあるものです。僕が転職したのも、自分の将来を長いスパンで考えてのことでした。人は自分が知っている社会が全てと思いがちで、苦しい状況にあると、なおさら勇気を持ってあげられず、あきらめてしまうことがよくあります。でも、そこで一歩踏み出すと、次の扉を開けることができます。

そして外国人の場合には、とかく自ら「外国人」の枠に入れて、あきらめてしまうことがあるように思います。残念ながらまだ国籍にこだわる職場はありますが、実際、そうでない所も沢山あります。僕の経験では、職場で重視されているのは、「仕事ができるか」「この人とうまく仕事をやっていけるか」という点だけで、国籍や学歴などはさほど関係ありません。

だから特に若い世代には、自分を狭い枠に押し込めないで、大きな夢を抱いてほしいです。僕たちの親は新しい国にやってきて苦労した世代なので、家庭で社会や仕事についてのつらい話を沢山耳にしているかもしれません。しかしそれだけで、「どうせ仕事はこういうもの」「社会はこんなものなので、稼げればそれでいい」などと思いつまむのはもったいない話です。色々な社会を知ったり、人の話を聞いてみて、夢を膨らませてください。僕たちを受け入れてくれる場所はいくらでもあるし、社会もどんどん変化して いて、チャンスは山ほどあります。今、夢に向かって努力を しておいて、チャンスをつかんでいきましょう。そしてもう一つ。母語の大切さを、最近、僕は再認識しています。二つの言葉を知ることで社会での可能性も広がるし、母国の国民としての様々な手続きも、大人になると一人ですることになりますから。僕自身の母語能力は8歳で停まったままなので、またポルトガル語の勉強を始めています。

これまで三つの職場を経験しましたが、転職する度に、見える風景が広がっていくように感じています。僕はもう後戻りはしません。もっと広い世界を目指して進んでいこうと思っています。